

佐賀県後発医薬品使用促進事業 アンケート調査分析報告書

回答者数：1,380人（回答率29%）

① 後発薬の認知度

- ジェネリック医薬品について、回答者の**63%**が大体知っており、**26%**がよく知っていることがわかった。
- 一方で、知らないと回答した人は**1%**にとどまる。

② 医療機関等からの働きかけ状況

- ジェネリック医薬品に関する情報は、主に医療機関や薬局からの説明が多いことがわかった。病院・診療所での説明が**31%**、薬局での説明が**54%**であり、それぞれ多かった。
- また、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等のマスメディアも**43%**でかなりの割合を占めている。
- 医師と薬剤師が「ジェネリック医薬品」に関する主な相談相手であり、医師に**61%**、薬剤師に**71%**が相談している。

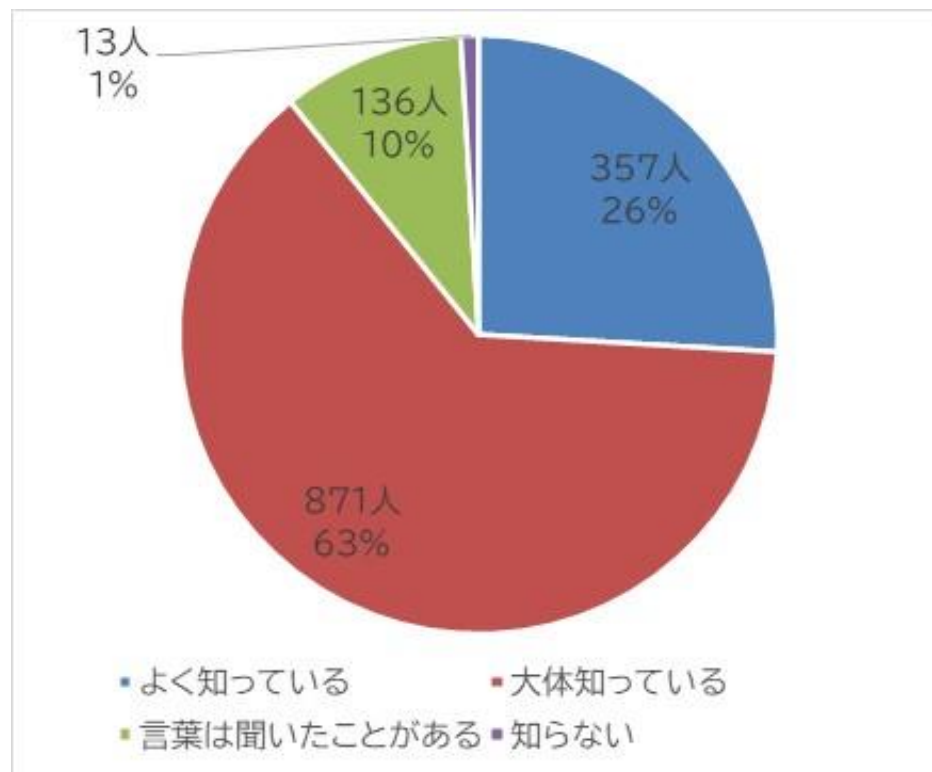
③ その他の注目すべきポイント

- 約**75%**の回答者が先発薬からジェネリック医薬品に切り替えた経験がある。
- 切り替えられた際の主な方法は、薬局で勧められたことが**48%**と最も多く、次いで医療機関で**28%**の方が勧められたと回答している。
- また、約**69%**の回答者が今後の相談の予定はないと回答した。
- 薬剤師は「ジェネリック医薬品」に関する情報提供や相談窓口として重要な役割を果たしていると言える。
- 多くの患者が薬剤師に相談しやすいと感じており、医師には相談しにくいと感じる人も一定数存在している。

アンケート調査結果集計(設問1)

Q1.「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」についてご存知ですか

①よく知っている ②大体知っている ③言葉は聞いたことがある ④知らない



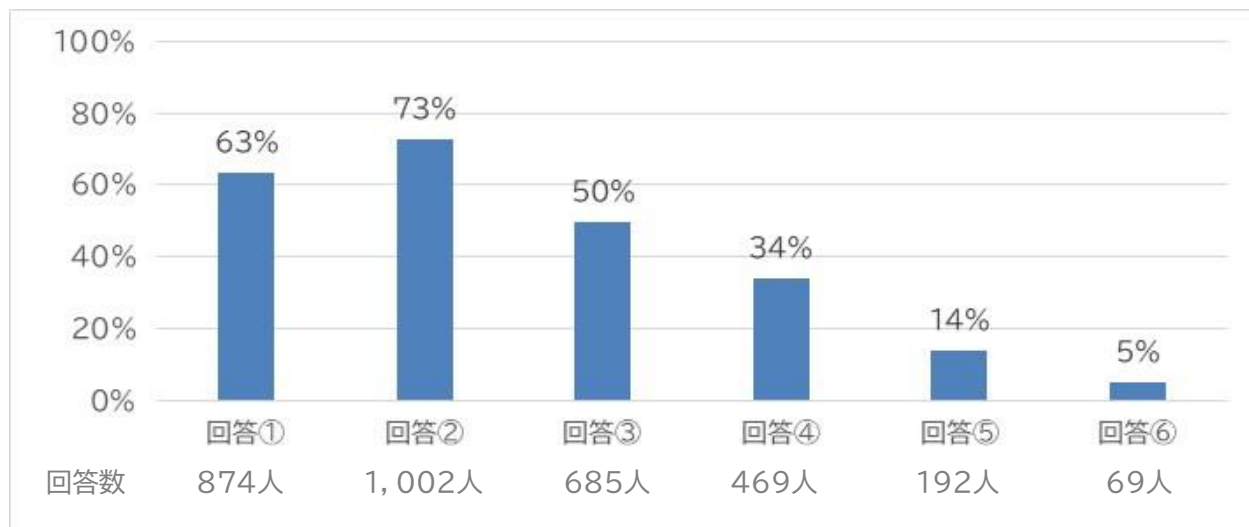
集計結果

- 「よく知っている(回答①)」と「大体知っている(回答②)」を合わせた割合が89%
- 「知らない(回答④)」の割合が1%とかなり低い水準

アンケート調査結果集計(設問2)

Q2.「ジェネリック医薬品」について知っている内容は何ですか（複数回答可）

- ①先発医薬品の特許が切れた後に他のメーカーが製造・販売する医薬品
- ②先発医薬品と効能・効果や安全性について基本的な違いはない
- ③国(厚生労働省)で承認された薬
- ④先発医薬品と添加剤が異なる場合があるが安全性・有効性は変わらない
- ⑤先発医薬品より形状・味・飲みやすさが改良されているものもある
- ⑥その他



集計結果

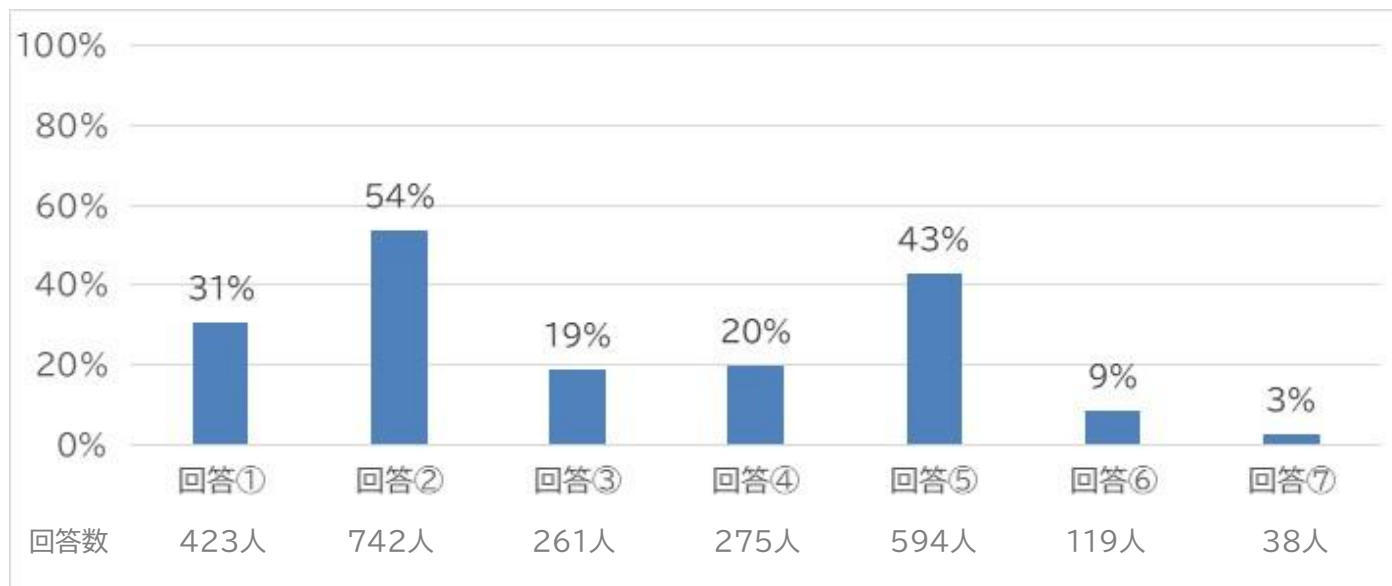
- 「先発医薬品と効能・効果や安全性について基本的な違いはない(回答②)」の認知度が最も高い
- 「その他(回答⑥)」のコメントとしては価格の優位性(値段が安い)に関するものが多い

注: 回答者1,380人の回答のうち、有効回答数は1,380件

アンケート調査結果集計(設問3)

Q3.「ジェネリック医薬品」についてどのようにお知りになりましたか（複数回答可）

①病院・診療所での説明 ②薬局での説明 ③ポスターやチラシ ④市町からのお知らせ(差額通知書等) ⑤テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等 ⑥家族・知人・友人 ⑦その他



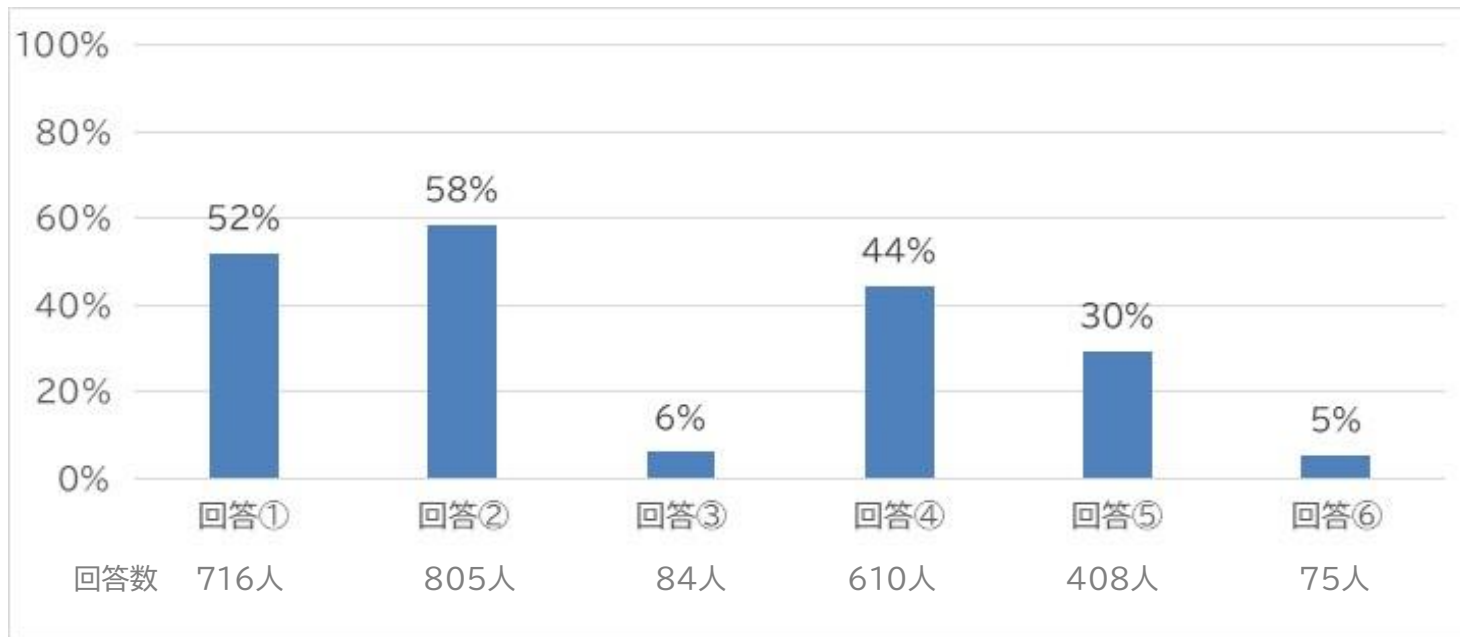
集計結果

- ・「薬局での説明(回答②)」の割合が54%で最も高い
- ・「その他(回答⑦)」のコメントとしては「インターネット」や「職場」等

アンケート調査結果集計(設問4)

Q4. 「ジェネリック医薬品」について知りたいことは何ですか（複数回答可）

- ①効能・効果 ②安全性 ③使用感
④副作用の有無 ⑤お薬代 ⑥その他



集計結果

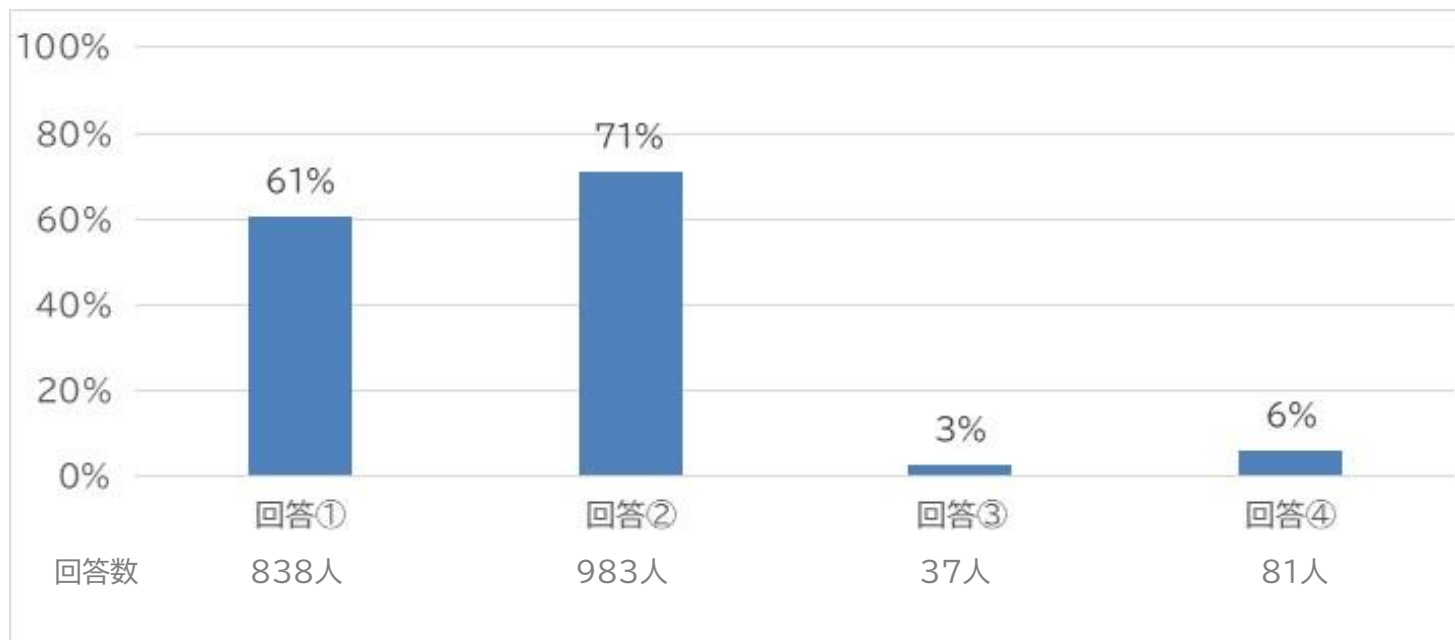
- ・ 「安全性(回答②)」に関する関心が58%で最も高い
- ・ 「その他(回答⑥)」のコメントとしては「添加物の安全性」や「安定供給」に関するもの等

注: 回答者1,380人の回答のうち、有効回答数は1,380件

アンケート調査結果集計(設問5)

Q5.「ジェネリック医薬品」について、まず誰に相談しますか

①医師 ②薬剤師 ③看護師 ④その他



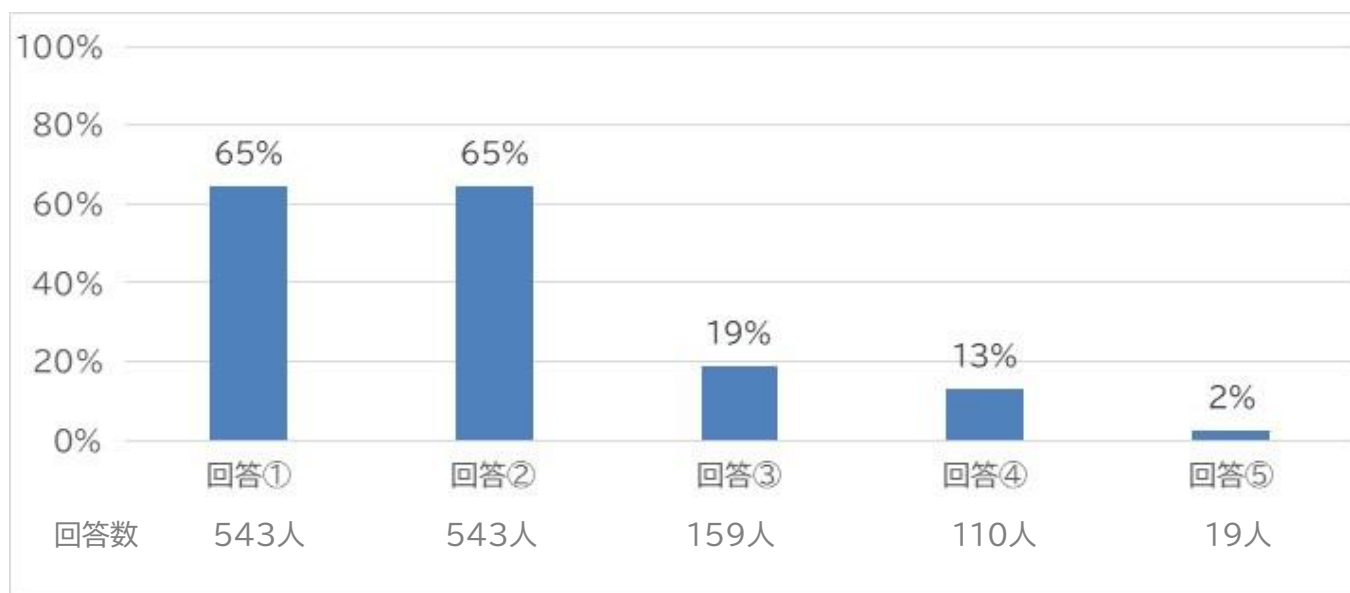
集計結果

- 相談する相手は「医師(回答①)」が61%、薬剤師が71%であり、薬剤師の方が高い
- その他(回答④)」の内容としては、「家族」や「誰にも相談しない」等

アンケート調査結果集計(設問6)

Q6. (問5で「医師」と回答した場合)そのように回答する理由は何ですか
(複数回答可)

①薬を処方する立場にあるから ②薬のことのみならず、全体的な健康状態と治療計画を管理しているから ③薬について詳しいと思うから ④相談しやすいから ⑤その他



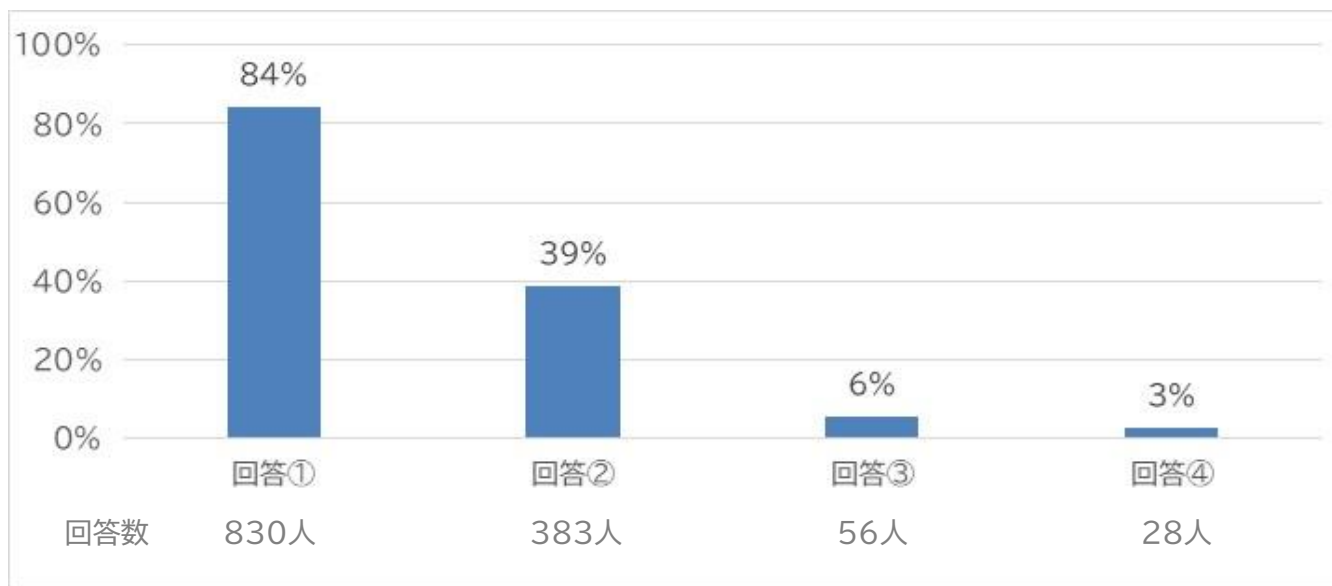
集計結果

- 「薬について薬に詳しいと思うから(回答③)」は19%であり、必ずしも高くない
- 「相談しやすいから(回答④)」は13%であり、必ずしも高くない(回答⑤のコメントとして、「医師に相談したがジェネリックに変更しなくていい」と言われたケースもあるようです)

アンケート調査結果集計(設問7)

Q7. (問5で「医師」と回答した場合)そのように回答する理由は何ですか
(複数回答可)

- ①薬について詳しいと思うから ②相談しやすいから ③医師に相談しにくいから
④その他



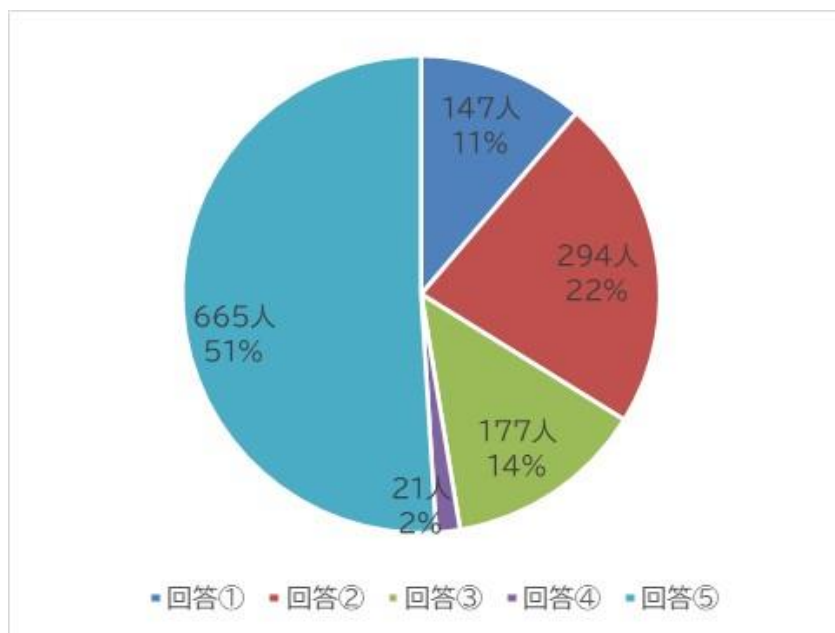
集計結果

- ・「薬について詳しいと思うから(回答①)」の割合は84%と高い
- ・「相談しやすいから(回答②)」の割合が39%であり、必ずしも高くない

アンケート調査結果集計(設問8)

Q8.「ジェネリック医薬品」について、病院や薬局等で今までに質問・相談したことはありますか

- ①医師に質問・相談した ②薬剤師に質問・相談した
③医師及び薬剤師に質問・相談した ④医師・薬剤師以外に質問・相談した
⑤相談したことがない



集計結果

- 「相談したことがない(回答⑤)」が51%を占めており、最も割合が高い
- 相談したことがある人が49%を占めており、「薬剤師に質問・相談した(回答②)」が22%で最も割合が高い

Q9.病院や薬局等で「ジェネリック医薬品」の切り替えを勧められる頻度はどれくらいですか

- ①頻繁に勧められる ②時々勧められる
③まれに勧められる ④全く勧められない



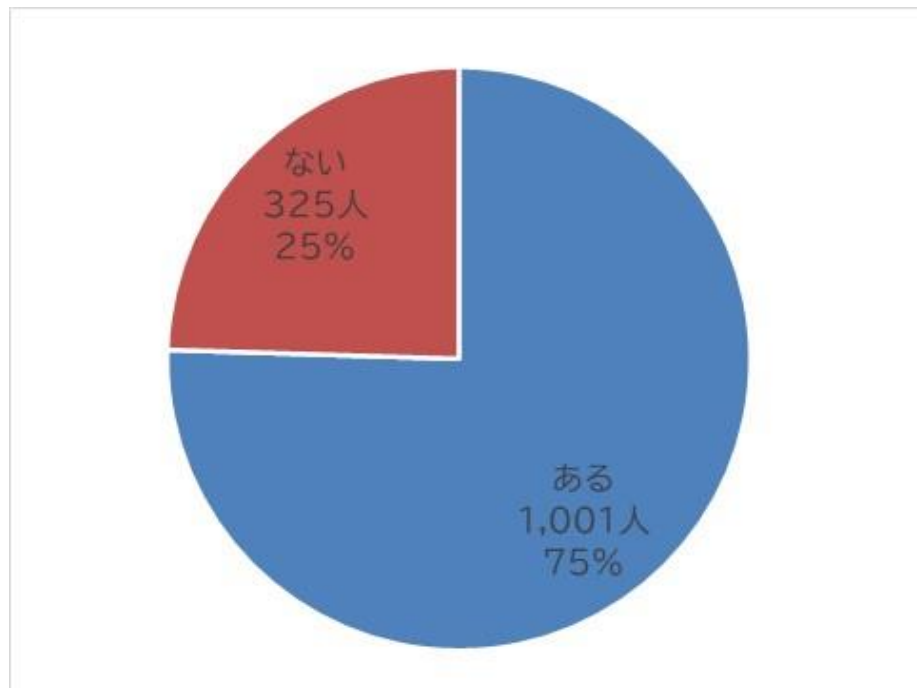
集計結果

- 病院や薬局でジェネリック医薬品への切り替えを進められる頻度は「まれに勧められる(回答③)」が最も高く38%を占めている
- 「全く勧められない(回答④)」の割合も24%と高い

アンケート調査結果集計(設問10)

Q10.先発薬からジェネリック医薬品に切り替えたことはありますか

- ①ある ②ない



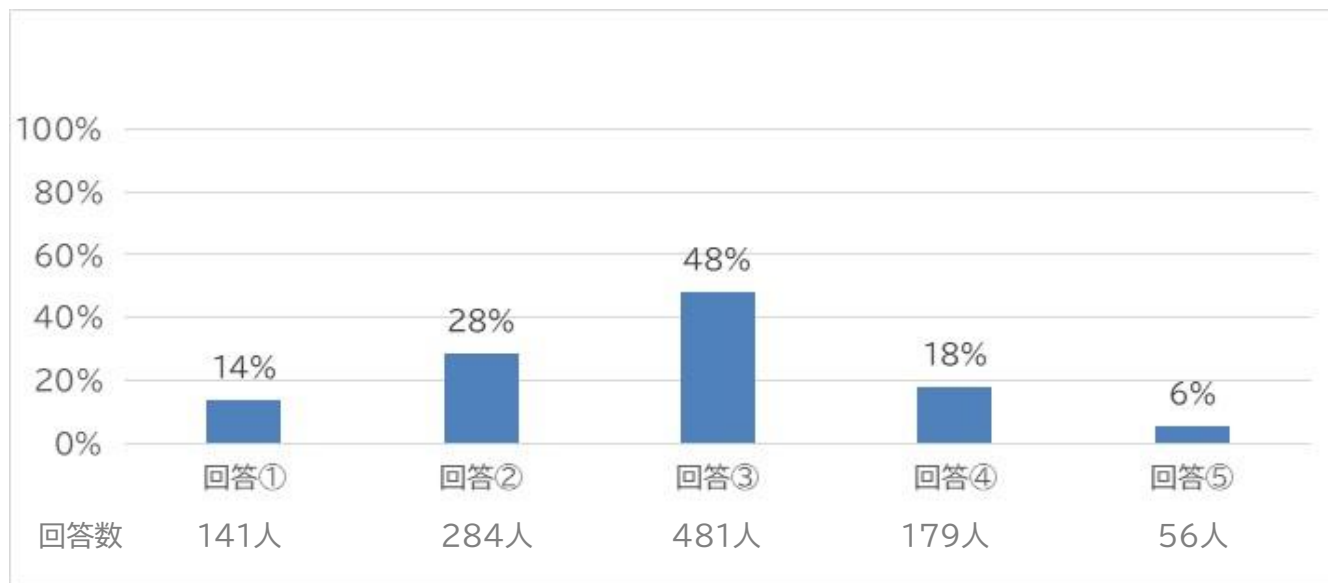
集計結果

- 先発薬からジェネリック医薬品に切り替えたことがないと回答した人が全体の25%

アンケート調査結果集計(設問11)

Q11(問10で「ある」と回答した場合)直近で切り替えられた時は、どのようにしてジェネリック医薬品に変更しましたか

- ①自ら変更をお願いした ②医療機関で勧められた ③薬局で勧められた
④保険証にジェネリックシールを貼っている ⑤その他



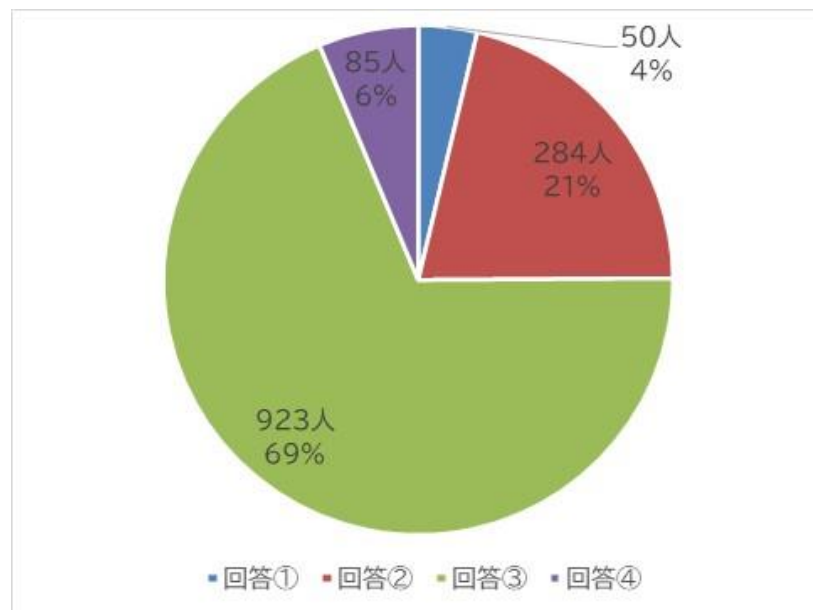
集計結果

- ・「自ら変更をお願いした(回答①)」という積極的理由は全体の14%
- ・「薬局で勧められた(回答③)」の割合が48%で最も高い

アンケート調査結果集計(設問12)

Q12.今回届いた「ジェネリック医薬品利用のご案内」の内容で医療機関等に相談に行きましたか(または行く予定ですか)

- ①相談に行った ②次回受診の時に相談する予定
③相談する予定はない ④その他



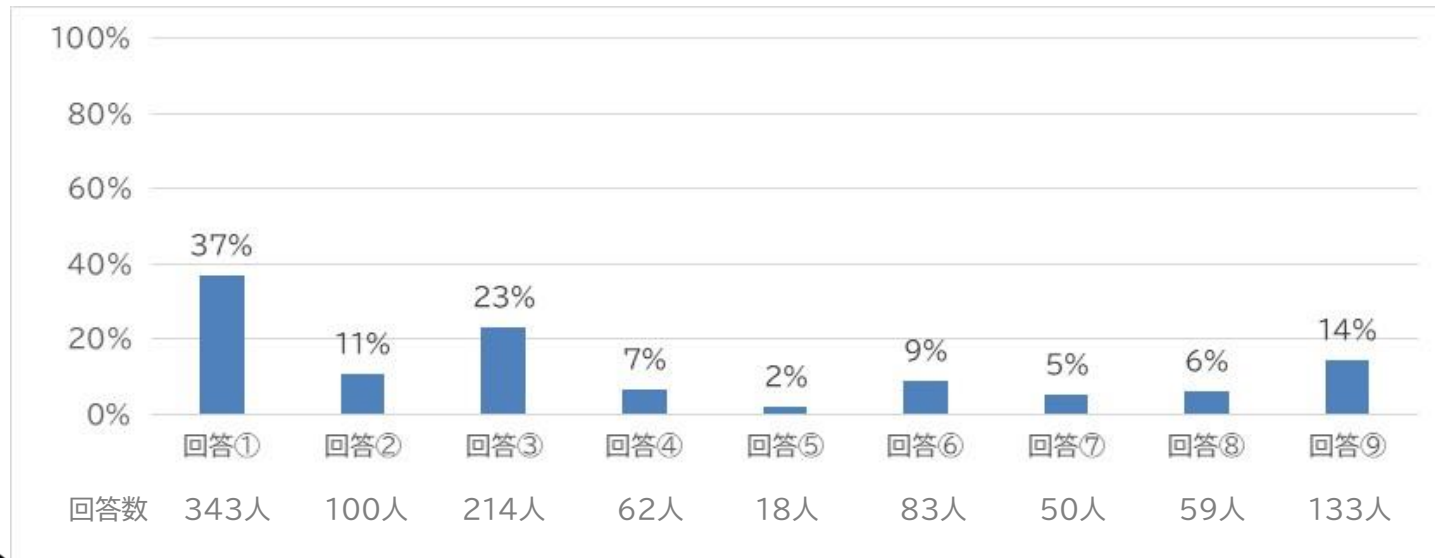
集計結果

- 「相談に行った(回答①)は全体の4%、「次回受診の時に相談する予定(回答②)」と合わせて全体の25%
- 「その他(回答④)」のコメントとしては「既にジェネリック医薬品を処方しているから」が多い

アンケート調査結果集計(設問13)

Q13. (問12で「相談する予定はない」と回答した場合)その理由を教えてください

- ①以前医師等に相談した上で現在の処方を受けているため ②品質に不安がある
③使い慣れた薬の方がいい ④先発薬と同じ効果が期待できない ⑤医師に何となく
申し訳なく思う ⑥ジェネリック医薬品も試した上で先発薬を選択している
⑦ジェネリック医薬品事自体をよく知らない⑧相談の仕方が分からない ⑨その他



集計結果

- ・ 「以前医師等に相談した上で現在の処方を受けているため(回答①)」が37%で最も割合が大きい
- ・ 「使い慣れた薬の方がいい(回答③)」が23%と高いことから、消極的な理由で先発薬の処方を継続している人が一定数存在することが推察される

注:設問12で「相談する予定はない」と回答した923人の回答のうち、有効回答数は923件

Q14その他、ジェネリック医薬品に関する意見等がございましたらご記入ください

※自由記述



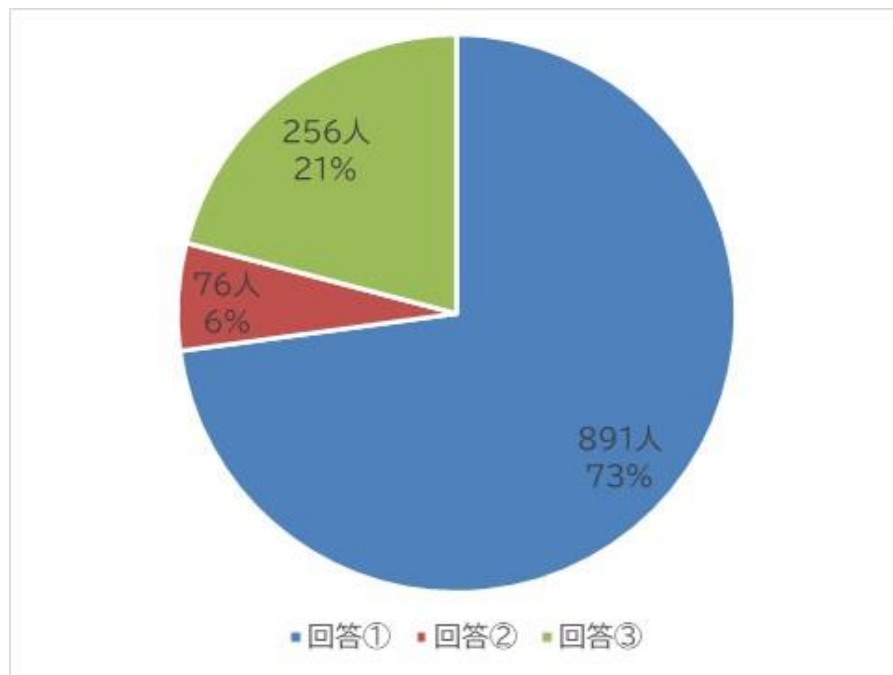
意見事例

- かぜや頭痛などのよくある症状の時の薬は、ジェネリックでも良いと思いますが、特別な病気(効果がないと困る)の時は、先発薬の方が安心です
- 国民健康保険のカードやお薬手帳にも「ジェネリック医薬品を希望します。」のシールをはっていますが、医師がそれを尊重してくれていたのか、疑問に思いました
- ジェネリック医薬品不足になるような事態が起こらないようにしてほしい
- 薬によります。ジェネリックで良い(自分にあう)ものもありますが、そうでないものもありました。その都度、説明を受け自分で選びたいです。いちりつに、どちらかだけにはしません
- 薬代が安くなってよかったと思っています。効能、効果が変わらないということで利用させていたでいます
- 先日もデータ改ざんがあったが安全性に問題がある
- 何年も家族が処方されていた薬の不正が発覚した。口から体に入れる物。薬は特に慎重になる怖いとも思う。私はジェネリックを使用したいとは現在は思いません。
- 添加物で副作用が出ることが多い
- 医師や薬剤師を信頼してるので進められた薬を飲んでいます。
- 医師からも薬剤師からもすすめられない。医療費の国の負担を少なくするためにジェネリックをすすめているが病院も薬局も利益が減るのですすめないのではないですか？
- 効果や安全性に問題がない限り、これからも続ける予定です。
- おくすり手帳で、後発医薬品の情報を見ている。先生に何度でもお願いするのも申し訳ない気もする。でも、次回又、お願いするつもりです。ありがとうございました。
- オーソライズド・ジェネリックとジェネリックをしっかりと区別してほしい。オーソライズド・ジェネリックだったら変更しても良いと思っている

アンケート調査結果集計(設問15)

Q15.今後のアンケートの回答方法について、回答しやすい形式を教えてください

- ①紙媒体の形式(今回同様) ②オンライン形式(スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答) ③紙媒体・オンラインのどちらでも構わない



集計結果

- アンケートへの回答方法として「紙媒体の形式(回答①)」を希望する割合が73%
- 「オンライン形式(スマートフォン等でQRコードを読み込んで回答) (回答②)」と「紙媒体・オンラインどちらでもいい(回答③)」を合わせても27%